

茨建協

ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2024.9 NO.662



(水戸市教育委員会提供)

茨城のお祭り

吉田神社の秋季祭礼 (水戸市) 10月18日 (金)、19日 (土)、20日 (日)

10月15日に近い金曜日・土曜日・日曜日に行われる。1日目が例大祭の神事と夜祭、2日目と3日目が神体を神輿に乗せ、氏子町内を巡り神社に戻る神幸祭・還幸祭。神幸行列には7基の山車や「台町のささら」が加わり、水戸下市の住民が待ち望む賑わいのある秋の祭礼となっている。

CONTENTS

- 「働き方・担い手確保へ経営者向け意識調査」報告書
- 建設業のPRへ教材を作成
- 経営企画委員会が勉強会
- 茨城県企業局が優秀技術者表彰

持続可能な建設業へ 担い手の確保・育成を 経営者向け意識調査

本会は、土木委員会と建設未来協議会が中心となって「建設業の働き方・担い手確保に関する経営者向け意識調査」の報告書をまとめました。報告書からは、持続可能な建設業となるため、会員企業が担い手の処遇改善、働き方改革、生産性向上を進める必要性を感じていることがうかがえます。

意識調査では、時間外労働の上限規制への対応や休日の確保、担い手の確保育成、賃金の引き上げ、外国人材の活用、事業承継などについて聞きました。

時間外労働の削減や休日の確保には、書類作成の削減、精度の高い設計図書の提供などが必要と認識。特に市町村工事や民間工事での働きかけが必要となっています。企業側も働き方改革への意

識改革が必要になっています。

外国人材の活用も、官民が一体となって取り組む必要があると認識。持続可能性を高める経営戦略・成長戦略として事業承継も検討が必要との考えが多くありました。

調査結果を踏まえ本会では、持続可能な業界の構築へ協議を重ねていきます。

建設業の大切さ知って！ 子ども向け冊子など作成

本会は、未来を担う子どもたちに建設業界のことを知ってもらう訪問型授業の教材として、冊子やクリアファイルなどを作成しました。

「いつまでも安心して暮らせるまちづくり～安全安心、快適な暮らしを支える建設業の役割～」をテーマに、建設業というインフラ事業について学びを得られる教材として作成。動画やクイズを交えて学習することができます。

冊子は、年齢に応じて作成。小学校1～3年生には「みちかな道路についてしろう」、小学校4～6年生には「みんなの暮らしをささえるもの」、中学生には「安全安心なまちをいつまでも」がテーマ。年齢に応じて理解を深めることができました。

訪問型の出前授業は、6月12日に美浦村立美浦中学校2年生を対象に実施。冊子などを配布し、建設業の大切さを学んでもらいました。



1・2・3年生向け冊子



中学生向け冊子



クリアファイル

経営企画委員会

新担い手3法を研修



経営企画委員会（沢畑正剛委員長）が9月6日に水戸市の本会本部で開催されました。講師に国土交通省関東地方整備局建政部建設産業第一課の園田知歩課長補佐を招き、建設産業行政の取り組み、第三次・担い手3法（建設業法、入契法、品確法の一体的改正）の説明を受けました。沢畑委員長は「第三次・担い手3法などの説明を受け、実りある勉強会にしたい」とあいさつしました。

民間工事でも適正工期を

県連絡会議で確認



茨城県による「第3回民間工事における適正な工期の確保に係る連絡会議」が8月7日に水戸市の県庁で開催され、本会も参加しました。第三次・担い手3法や働き方改革について情報を共有し、意見を交換。「猛暑日の対応を民間工事においても理解してもらえるよう周知していく必要がある」「施主の認識を変えることが課題。適正工期についてもっとアピールを」といった意見が出ました。

現場代理人対象に

スキルアップセミナー



本会は、茨城県土木施工管理技士会と現場代理人を対象としたスキルアップセミナーを鹿行会場（7月18日、19日）、県南会場（7月25日、26日）、水戸会場（8月6日、7日）で開催。参加者は、技術力の向上へ研修を行いました。研修内容は①マネジメントの基本②建設業界の現状と課題③安全対策④現場のコスト・マネジメント一など。

建設業経営者研修会

テキストをHPに掲載

本会は、令和6年度の建設業経営者研修会のテキストを茨城県土木部監理課と共に作成しました。監理課のホームページに掲載しています。テキストはダウンロードができます。

テキストの主な内容は次の通りです。

- ◆県内建設業者の現況
- ◆入札・契約制度の改善
- ◆適正な施工体制の確保
- ◆適正な下請契約の締結
- ◆令和7・8年度の入札参加資格審査の受付
- ◆建設キャリアアップシステム
- ◆CORINSの登録
- ◆公共事業のIT化（建設CALS/EC）
- ◆資源有効利用促進法
- ◆建設リサイクル法

県 9月 補正予算案

橋梁修繕や補強に10億追加 工事12件で債務負担行為

茨城県は、令和6年度9月補正予算案をまとめました。補正総額は77億6500万円。建設関係では、橋梁修繕・耐震補強や東関東自動車道水戸線の整備など国補公共事業に69億4200万円、田んぼダム促進緊急対策事業に1億3600万円、特定交通安全施設整備事業（信号機LED化37基）に4100万円を計上しました。

国補公共事業の補正は、国内示の増加に伴い69億4200万円。そのうち地方道路整備事業に9億9800万円を充て、国道294号細代跨線橋（つくばみらい市）など15カ所の橋梁修繕や耐震補強を計画。

国直轄事業負担金は総額58億5900万円。内訳は、久慈川や常陸利根川ほか5カ所に37億300万円、東関東水戸線や国道51号潮来バイパスほか15カ所に20億8400万円、鹿島港に7200万円。

新規の田んぼダム促進緊急対策事業には1億3600万円。水田からの排水を抑制する落水柵の設置（2000個）や畦畔の補強に補助します。流域治水プロジェクト対象河川の流域内で、近年の豪雨で浸水被害があった土地改良区3カ所程度が対象。

そのほか、地方道路整備工事や道路緊急修繕工事など、来年度の公共工事の平準化を図るために12件の債務負担行為を設定しました。

設定した債務負担行為は次の通りです。

- ◆地方道路整備工事請負契約（主要地方道土浦竜ヶ崎線、阿見町小池地内外4カ所）＝8億5000万円

- ◆県単道路緊急修繕工事請負契約（一般国道125号、土浦市高岡地内外23カ所の舗装修繕）＝9億4000万円
- ◆県単道路植栽管理工事請負契約（道路の植栽管理）＝8億円
- ◆県単道路維持工事請負契約（道路の路面清掃）＝8000万円
- ◆橋梁点検業務委託契約（鉄道および高速道路をまたぐ道路橋の定期点検業務）＝1億9000万円
- ◆電線共同溝整備工事請負契約（一般県道上水戸停車場千波公園線、水戸市大工町地内外2カ所）＝1億2000万円
- ◆県単交通安全施設工事請負契約（道路の交通安全施設工事）＝1億5000万円
- ◆国補河川改修工事請負契約（一級河川中丸川、ひたちなか市東石川地先）＝2億円
- ◆海岸保全施設整備工事請負契約（鹿嶋海岸、鹿嶋市荒野地先外1カ所の養浜工事）＝7000万円
- ◆県単水辺空間づくり河川整備事業工事請負契約（一級河川前川、潮来市潮来地先の河川堤防護岸の修景工事）＝500万円
- ◆港湾統合補助事業工事請負契約（鹿島港の浚渫工事）＝9900万円
- ◆茨城港常陸那珂港区機能施設整備工事請負契約（ふ頭用地整備及び荷役機械整備工事）＝5億円

茨城県企業局

令和6年度主任（監理）技術者表彰受賞者

【企業局長表彰】

- ◆門脇輝彦（細谷建設工業(株)）

【企業局長表彰（DX技術者賞）】

- ◆松平則幸（大昭建設(株)）

【水道事務所長表彰】

- ◆石崎竜也（株八木組）

- ◆大越淳（令和建设(株)）
- ◆佐藤百合子（株井滝建設）
- ◆菅谷裕美子（宥菅谷工務店）
- ◆田中利弘（増川建設(株)）
- ◆額賀裕也（株茂木工務店）
- ◆野沢誠（松浦建設(株)）

支部活動報告

常陸大宮支部

業界発展へ県と意見交換



常陸大宮支部（高野潔支部長）は7月25日、県出先事務所（常陸大宮土木、中央水道事務所）との意見交換会を開催。支部では、猛暑日の現場作業やASP（情報共有システム）について設計単価や工事休止の対応、監督員の責任感などを提案しました。高野支部長は「業界の発展に向け、有意義な意見交換会に」とあいさつしました。

土浦支部

安全管理講習で意識高める



土浦支部（小林伸行支部長）は7月29日、茨城県土浦土木事務所（栗林俊一所長）との共催で建設現場の安全管理講習会を開催。約90人が講義を通じ、労働災害防止への意識を高めました。小林支部長が「事故のない安心安全な現場で作業を進めてほしい。熱中症にも気を付けたい。有意義な講習会に」とあいさつしました。

大子支部

安全管理や熱中症対策を研修



大子支部（大藤博文支部長）は8月27日、安全管理講習会を茨城県大子工務所（堀江義明所長）と開催。会員から約60人が参加し、除草工事などにおける安全管理の徹底、熱中症対策などを確認しました。大藤支部長は「建設業は常に危険と隣り合わせ。皆が一体となって安全意識の高揚に努めてほしい」と語りました。

土浦支部

執行方針など県と意見交換



土浦支部（小林伸行支部長）は8月1日、茨城県出先機関（土浦土木事務所、つくば支所、流域下水道事務所、県南水道事務所）との意見交換会を土浦土木で開催。事業の執行方針や担い手の中長期的な育成確保などで意見を交わしました。小林支部長は「意見要望を集約させていただいた。よろしくお願ひしたい」とあいさつしました。

潮来支部

担い手確保へ県と意見交換



潮来支部（松崎里志支部長）は7月31日、鹿行地区の茨城県出先事務所との意見交換会を開催。ICT活用や週休2日制、工事書類の削減、工事事故、盗難被害状況など、担い手の確保・育成や生産性の向上へ意見を交換しました。松崎支部長は「より一層行政と緊密に連携し、減災防災に役立つことができれば」とあいさつしました。

筑西支部

現場力向上へ県と意見交換



筑西支部（白田唯雄支部長）は7月31日、茨城県筑西土木事務所（寺田明弘所長）との意見交換会を開催。支部からは白田支部長をはじめ12人が参加。週休2日制への取り組みや成績評定、2024年問題などについて意見を交換しました。白田支部長は「現場のためになる有意義な意見交換にしたい」とあいさつしました。

常総支部
活動報告

「道の日」で 美化活動



常総支部（中川原勇支部長）は8月8日、「道の日キャンペーン」として常総市、下妻市、八千代町にて道路清掃を実施しました。中川原支部長をはじめ会員94名のほか、茨城県常総工事事務所の職員12名、各市町職員14名の計120名が参加。各地区2班に分かれ美化活動を実施。各地区で歩道を歩きながら、延長12kmにわたり、ごみやペットボトルなど合計70kgのごみを集めました。

境支部
活動報告

「道の日」240人が 道路美化に汗



境支部（新井孝支部長）は8月5日、茨城県境工事事務所（真中剛所長）と共に、道の日（8月10日）に伴う道路清掃活動を行いました。支部員は44社から約240名が参加し、道路に捨てられた空き缶などのごみ拾いに汗を流しました。清掃箇所は国道354号や県道結城野田線など主要13路線。総延長111.8kmに及び、可燃ごみ340kg、不燃ごみ70kgを回収しました。

建設未来
協議会

桜川河川敷に巨大文字 ICT・建設業PR



深掘りして文字を浮かび上がらせ、建設業をPRしました

建設未来協議会（櫻井俊一会長）は、会員の北都建設工業（鈴木亮代表取締役）の現場（河川掘削工事）の対岸である土浦市生田町の桜川河川敷に巨大メッセージを描きました。8月末まで公開し、建設業の魅力を広く発信しました。

関東建設青年会議の建設産業情報発信委員会が企画。およそ5日間で、1文字あたり縦約11m、



作業に携わった関係者

横約5.5m、全体では縦約14m、横約63mを作成。ドローン測量を実施し、作成した3Dの設計データをMCバックホウに出力。文字の周りを約50cm掘り、外形を浮かび上がらせました。鈴木代表は「最新の技術を用いれば巨大な文字ができるという技術の進化を知ってもらい、建設業に目を向けてもらう機会になった」と話しています。

令和6年度 建設業退職金共済制度加入促進強化月間

令和6年10月1日～令和6年10月31日

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
建退共茨城県支部

TEL 029-225-0095 FAX 029-225-1158
<https://www.kentaikyو.taisuyokukin.go.jp>

建女ひばり会

ドボジョと橋梁点検・見学会



本会の建女ひばり会は、土木技術者女性の会東日本支部、笠間市、石岡市とともに「夏休み！ドボジョと橋をみてみよう♪ in いばらき」を笠間市（7月31日）、石岡市（8月8日）で開催。市民との協働による「セルフメンテナンス」の取り組みの一環として、小中学生に女性土木技術者（ドボジョ）が土木の仕事や橋について説明。実際に橋の点検や跨線橋の現場見学を行いました。

新しくなって、さらに安心・納得！



建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、ご加入を！

「建設共済保険」以外にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

労働安全衛生推進事業

公財財団法人
建設業福祉共済団

被災者（死亡により障害）償済3年以上の滞りなくして、専ら育英費および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

① 安全衛生用品の頒布
② 女性専用ヘルメット金庫入用の給付
③ 安全衛生推進者表彰 等

■ 取扱機関：(一社)茨城県建設業協会
〒100-0001 東京都千代田区千代田2-4 虎ノ門タワー11階

正確な費金の試算や資料請求はこちらまで

0120-913-931

詳しくはHPをご覧ください！

建設共済保険 検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

会員の動向

〈代表者変更〉

- ▽水戸支部
コスモ総合建設(株) 池田 勇夫 → 池田 大輔
- ▽太田支部
(有)石井建設 石井 あつ子 → 石井 貴之

- ▽土浦支部
(株)市村工務店 市村 進 → 草野 真希
- ▽境支部
中和建設(株) 中村 和夫 → 鶴見 真那人

